

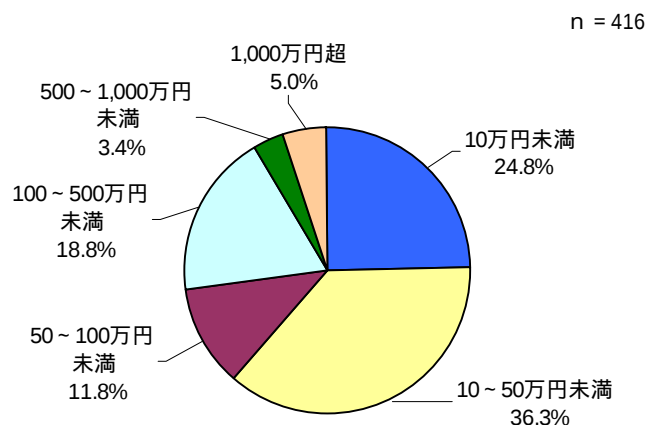
7. IT化投資について

IT関連投資額の規模について

A. 業種別

コンピュータを導入している事業所に対し、直近の決算年度におけるIT関連の投資額（ハード機器やソフト開発・購入費等）の規模を金額ベースで尋ねたところ、「10～50万円未満」が36.3%で最も多く、次いで「10万円未満」が24.8%、「100～500万円未満」が18.8%、「50～100万円未満」が11.8%となっている。一方、「1,000万円超」も5.0%あった。（図5-1）

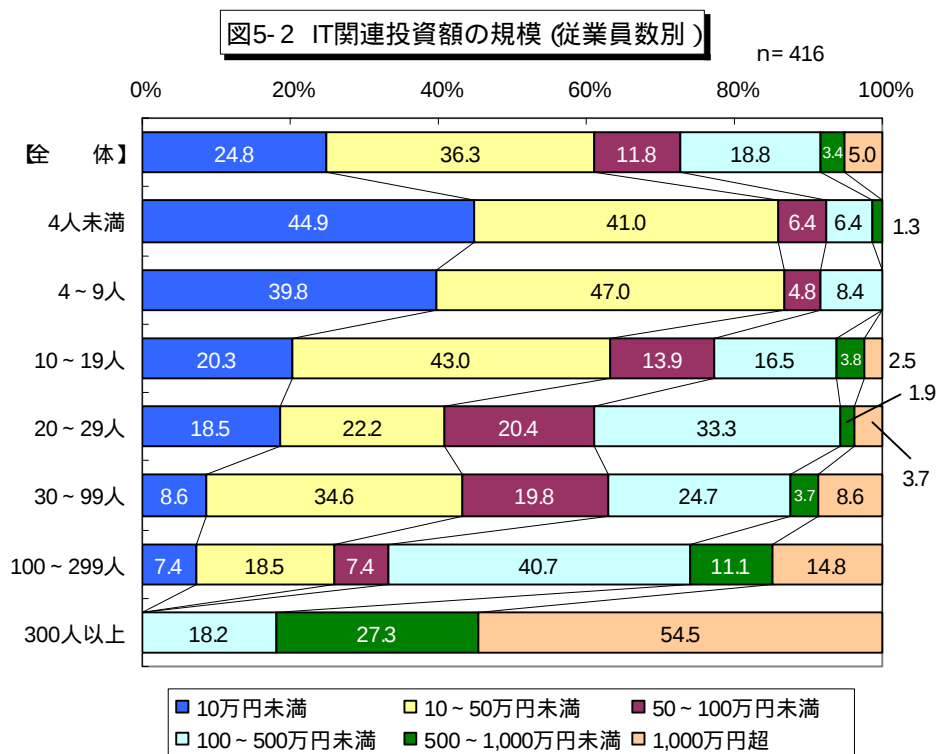
図5-1 IT関連投資額の規模



B . 従業員数別

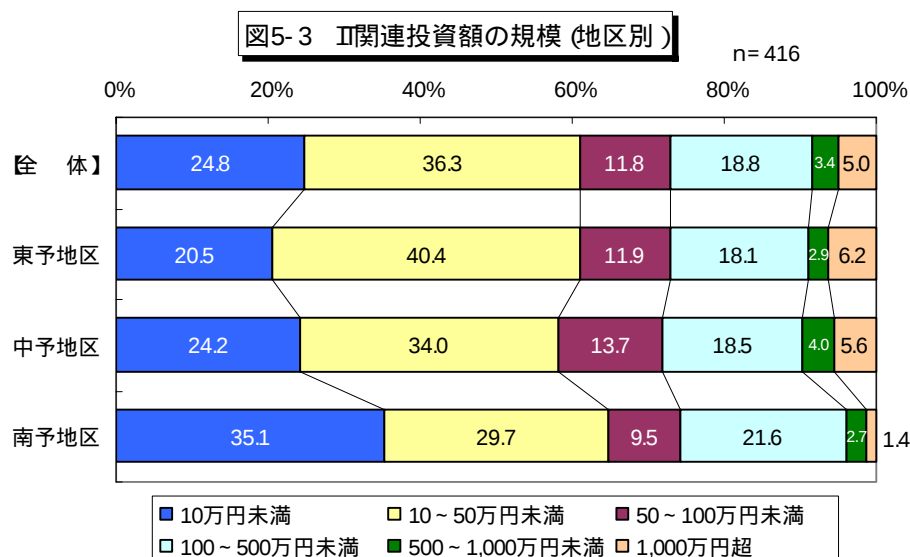
従業員数別に見てみると、「300人以上」では、「1,000万円超」が54.5%、「500～1,000万円未満」が27.3%、「100～500万円未満」が18.2%と、全てIT関連投資額100万円以上となっている（図5-2）。

一方、従業員数の規模が小さくなるにつれてIT関連投資額も少額になっており、10人未満の事業所では、その8割以上においてIT関連投資額が50万円未満となっている。



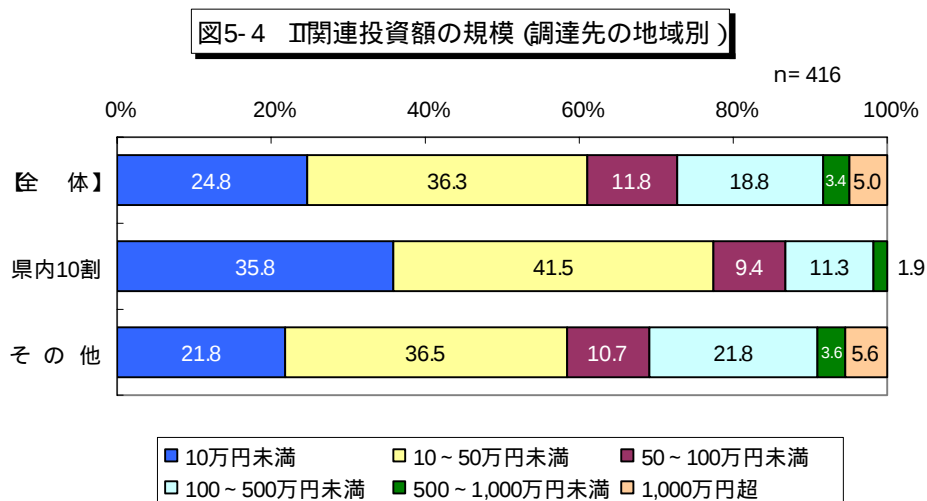
C . 地区別

地区別に見てみると、「南予地区」で10万円未満の割合が最も多いものの、全体として3地区に大きな差異はなく、あまり大きな特徴はみられなかった（図5-3）。



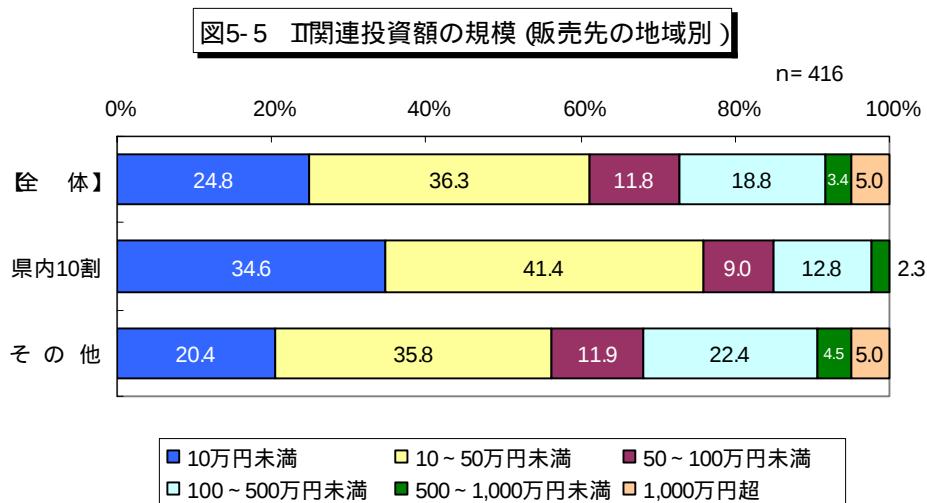
D . 調達先別

調達先の地域別にみても、調達先の地域が「県内10割」よりも、県外にも調達先をもつ事業所の方がIT関連投資額が多くなっている(図5-4)。



E . 販売先別

販売先別でも調達先別と同じような傾向があり、構成比もほぼ同じ水準である(図5-5)。



F . 販売対象別

販売の対象別にみても、「対企業」の方が「対消費者」よりも投資規模が高い傾向にある（図 5-6）。

